

第3章 環境対策の現状

(1) 工場新設・増設の事前協議状況

市内に工場・事業所を新設及び増設しようとする場合、北茨城市公害防止条例第7条に基づき、事業者はあらかじめ公害防止について市と協議しなければならない。

表 3-1 事前協議状況

年度 種類	H18	H19	H20	H21	H22
新設	5	2	1	0	1
増設	3	5	5	4	3

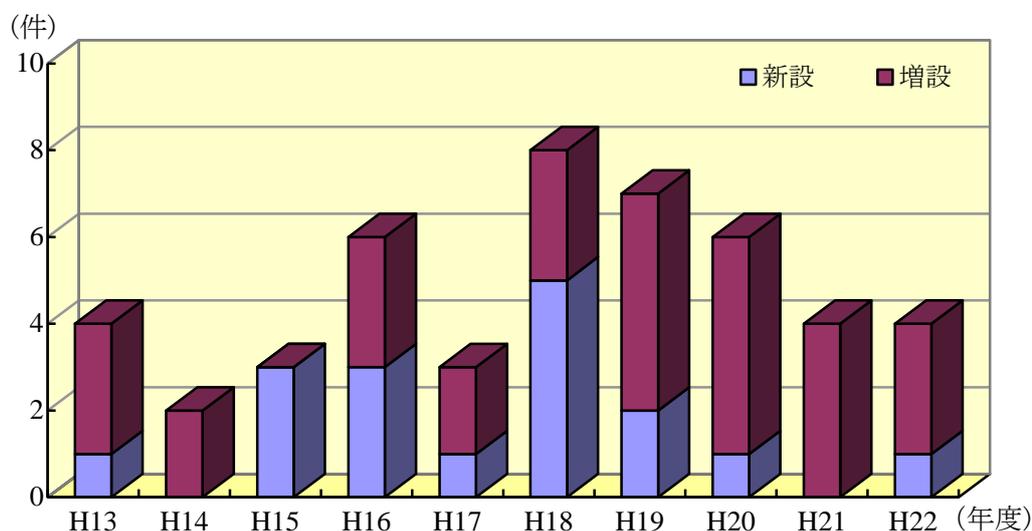


図3-1 工場新設・増設の事前協議状況

(2) 公害防止・環境保全協定締結状況

北茨城市公害防止条例第8条に基づき、事業活動に伴って生ずる公害を未然に防止し、地域住民の健康を保護するとともに生活環境を保全することを目的として、必要に応じ公害防止協定を締結している。なお、平成23年3月31日現在において、51事業所と協定を締結している。

また、ゴルフ場の事業活動による公害の発生を未然に防止するとともに、自然環境を保全し、地域の良好な環境を確保することを目的として、環境保全協定を締結している。

表 3-2-1 公害防止協定締結企業

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

【磯原 A 工業団地】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	(株)アイメタルテクノロジー	2	常磐共同印刷(株)
3	(株)高砂鐵工所	4	(株)パワーステーション茨城

【磯原 B 工業団地】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	(株)アドバンスト・フォーミング・テクノロジー	2	NOK(株) 北茨城事業場
3	JX 日鉱日石金属(株) 磯原工場		

【中郷工業団地】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	浅草ハム(株)	2	大石産業(株) パルプモールド関東工場
3	大石産業(株) フィルム事業部	4	オート化学工業(株)
5	(株)オフセットクリーン	6	共同リネンサプライ(株)
7	(有)佐々木食品 第二工場	8	(株)常磐谷沢製作所
9	常北運輸(株)	10	(株)鈴勝産業
11	(株)第一機電	12	大生工業(株)
13	TDK マイクロデバイス(株)	14	(株)寺岡製作所
15	東京電力(株) 茨城支店	16	(株)東京宝来社
17	東京ライト工業(株)	18	永柳工業(株)
19	日亜鋼業(株)	20	日本エレクトロニクス(株)
21	日本フィルメニッヒ(株)	22	日本興業(株)
23	ファーマパック(株)	24	扶桑薬品工業(株)
25	メリードゥビューティプロダクツ(株)	26	モリマーコンポジット(株) 中郷工場
27	横関油脂工業(株)		

【南中郷工業団地】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	上岡化学工業(株)	2	三協紙業(株)
3	(有)信州アグリ		

【上相田工業団地】

No	締結企業名
1	ユニマテック(株) 第一工場

【関本工業団地】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	協三工業(株)	2	キュノ(株)
3	(株)北茨城木工所	4	コロナ技研工業(株)
5	伸和木型工業(株)	6	(株)全木商
7	中央油化(株)	8	(株)ティエス
9	(株)モタイショーワ	10	モリマーコンポジット(株) 本社工場

【工業団地以外】

No	締結企業名	No	締結企業名
1	向洋産業(株)	2	昭和興業(株)
3	新和企業(有)		

表 3-2-2 環境保全協定締結ゴルフ場一覧

No	締結ゴルフ場名	No	締結ゴルフ場名
1	茨城パシフィックカントリー倶楽部	2	ベイステージカントリー倶楽部

(3) 苦情の概況

種類別に見ると、大気汚染に関する苦情が40件と最も多く、全体の43%を占めている。次いで、不法投棄に関する苦情が32件で全体の34%となっており、この2種類で全体の77%を占めている。過去数年間は、この2種類の苦情が上位を占める傾向にある。

① 月別苦情受付状況

表 3-3-1 月別苦情受付状況

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	1	2	2	1	4	4	6	3	6	7	3	1	40
水質汚濁	2		3					1			1		7
土壌汚染													0
騒音					1	1				2			4
振動													0
地盤沈下													0
悪臭		1	2	2		1					1	1	8
不法投棄	1	6	4	3	1	4		2	1	5	5		32
その他	1				1			1					3
計	5	9	11	6	7	10	6	7	7	14	10	2	94

② 用途地域別苦情件数

表 3-3-2 用途地域別苦情件数

	件数	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	不法投棄	その他
都市計画区域	71	33	5		4			6	21	2
住居地域	17	5	1		1				9	1
近隣商業地域	0									
商業地域	3	1			1				1	
準工業地域	3	2							1	
工業地域	4	1						1	2	
工業専用地域	4	1	1					2		
無指定地域	40	23	3		2			3	8	1
都市計画区域外	23	7	2					2	11	1
合計	94	40	7	0	4	0	0	8	32	3

③ 発生源別苦情件数

発生源別に見ると、昨年と同様にあき地や道路への不法投棄が最も多く、合わせて29件となっており、次いで家庭生活及び農業に起因する野焼きが22件となっている。

表 3-3-3 発生源別苦情件数

発生源		種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	不法投棄	その他	計
農業	耕種農業											
	畜産・養蚕農業											
	農業・園芸サービス業	8							1			9
林業						1						1
漁業		1										1
鉱業	金属鉱業											
	石油・原油等の鉱業											
	非鉄金属鉱業											
建設	総合工事業											
	その他の工事業	1	1			2						4
製造業	食料品・飲食等製造業											
	繊維工業											
	木材・木製品製造業											
	パルプ・紙・紙加工品											
	出版・印刷・同関連産業											
	化学工業											
	石油・石炭製造業											
	プラスチック製品											
	ゴム製品製造業											
	窯業・土石製品製造業											
	鉄鋼・非鉄金属・金属									1		1
	機械機器製造業											
その他製造業	1								1		2	
電気・ガス・熱供給業												
水道業												
通信・運搬	鉄道業											
	道路旅客運送業											
	道路貨物運送業											
	航空運輸業											
	その他の運輸・通信業											
卸売・飲食	再生資源卸売業											
	卸売・小売業											
	飲食店											
	飲食店のカラオケ											
サービス業	洗濯・理容・浴場業					1						1
	駐車場業											
	生活関連サービス											
	旅館・その他の宿泊所											
	娯楽業			1								1
	娯楽業のカラオケ											
	ゴルフ場			1								1
	自動車整備業	1										1
	機械・家具等修理業											
	専門サービス業											
	廃棄物処理業											
	医療業・保健衛生	1										1
	社会保険・社会福祉											
教育・学術研究機関												
その他サービス業	3										3	
公務												
家庭生活		14										14
家庭生活のうちペット												
事務所		6							2	1		9
道路										23		23
あき地		1								6		7
公園												
神社・寺院												
その他		1	2						1	2	2	8
不明		2	2						2		1	7
合計		40	7			4			8	32	3	94

④ 年次別苦情件数

表 3-3-4 年次別苦情件数

年度 種類	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
大気汚染	33	28	48	40	57	48	46	43	32	40
水質汚濁	7	10	13	10	6	4	8	5	6	7
土壌汚染		1	1			2	1		1	
騒音	5	5	3	7	5	6	8	7	3	4
振動	1			1						
地盤沈下				1						
悪臭	5	10	14	18	7	12	6	5	9	8
不法投棄	40	86	159	104	103	101	85	47	21	32
その他	11	7	18	31	12	6	7	6	8	3
計	102	147	256	212	190	179	161	113	80	94

※平成 15 年度までは、ボランティアで回収されたものを不法投棄に含んでいる。

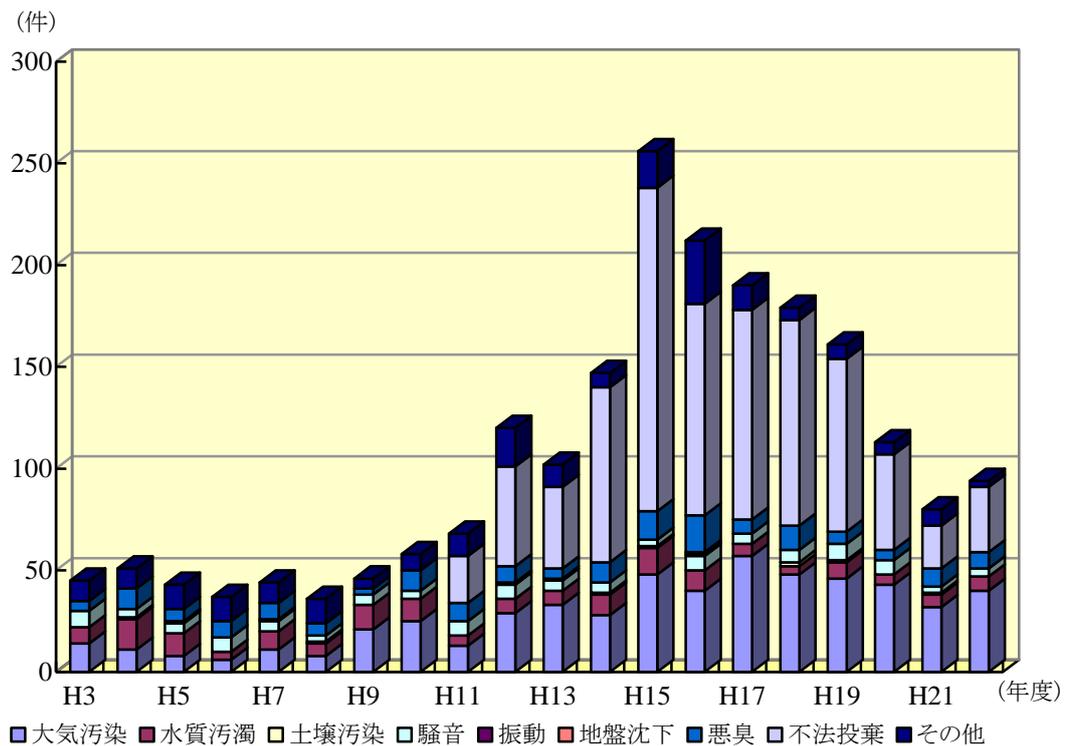


図3-3 年次別苦情件数